

議事要旨(1) 2015 年 10 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム(ASAF)の報告

冒頭、小賀坂副委員長より、2015 年 10 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム(ASAF)の報告について、審議資料に基づき説明がなされた。続いて、関口常勤委員より、審議資料に基づき詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主なコメントと、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

「アジェンダ協議」

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 基準開発のペースと詳細さに係る米国からのコメントについて、FASB代表者が会計基準の草案過程のすべてを可視化するか全くやらないかのいずれかだとすれば、現在行っている基準最終化前の最終レビューのプロセスを中止することを選択するだろうと発言した趣旨について確認したい。
 - アジェンダ協議の頻度に係るIASB フーガーホースト議長の発言のうち、IASBの関係者の対応能力に懸念を感じるという発言の意味合いを確認したい。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- FASB代表者の発言は、会計基準の草案過程を全て可視化することは現実的でなく、また、適切でないというものであった。また、現在行われている基準最終化前のレビューは、基準開発プロセスに継続的に関与している者を対象として、最終的な確認を行うことを目的とするものと理解しているとの発言があった。
 - フーガーホースト議長の発言は、財務報告の関連で多くの協議文書が公表される中、コメント提供者が十分な時間やリソースを有しているか疑問であるという一般論としての発言である。
-
- ある委員より、次のコメントがあった。
 - あるIASB理事から、基準適用後のレビュー(PIR)のプロセスを通じて、同じ論点が繰り返し検討される可能性があることに懸念するというコメントがあったようだが、当該発言の意味合いを確認したい。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 当該発言は、のれんの償却の是非を含め、基準設定時に論点として議論された内容がPIRにおいて蒸し返され、何度も議論されることになるというものであった。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - リサーチ・プロジェクトの優先順位に係る他国の意見は、一般的なものが多か

ったようだが、オーストラリア以外からは特段明確な順位に係る意見は示されなかったのか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- リサーチ・プロジェクトの優先順位に関する見解については各国で検討段階にあると想定され、会議では、優先順位付けについて多くのコメントは示されなかった。

「IASBによるプロジェクトの近況報告」

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - IASB関係者から、保険契約に関する会計基準の必要性及び緊急性を考慮して、早期に最終基準化すべきであるとの見解が示されているようだが、本件について審議が十分に尽くされたといえるかは疑問である。こうした姿勢が、品質よりもスケジュールを重視した基準開発に繋がり得る点を懸念している。
 - 金融安定理事会（FSB）から保険契約に関する会計基準を至急完成させるべきである旨を強く要望されたとのコメントがあったようだが、どのような内容か。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- FSBからの要望は、ASAF会議の直前に開催されたFSBの会議で、会議に出席したフーガーホースト議長が聞いた話と理解している。

以 上